



教育委員会だより

「多久から発信！SDGs 24」

「平和な世界であるために」

東原岸倉中央校 9年1組 高塚志央理

SDGsには「平和と公正をすべての人に」という項目があります。その中には、戦争をなくすだけでなく、暴力と、暴力による死を大きく減らす、子どもに対するあらゆる形の暴力や拷問をなくす等、多くの目標があります。

私はこの目標達成のために「私たちにできること」を考えました。

私たち東原岸倉中央校9年生は、9月に広島へ修学旅行に行きました。原爆資料館で、その当時の様子や被爆された人々の姿を見ました。また、戦争で両親を亡くし、親戚の家を転々とされた被爆孤児の方の話も聞くことができました。

重ねて、最近私はイスラエルとハマスの戦闘や燃える町の様子、壊れた建物の様子をテレビや新聞で見ます。そこには、明日が普通にやってくると思っていた子どもたちや家族のために働いていた人々、私と同じように、将来の夢に向かって、勉強していた人々がいたはずで、そう思うと、胸が苦しくなります。しかし、私たちが現実を知ることが目標を達成するためには必要だと思えます。

厳しい現実であろうとそれを直視し、自分事として考えることが、現在を生きる私たちに課せられた大きな使命です。明解は難しいけれど「平和と公正をすべての人に」を実現するために、考え行動することが大事です。

何も罪がない人たちが命を落とすことがない平和な世界にするために、私はまず、できること「募金活動や平和についてのイベントに参加すること」から始めます。



連載

野の仏ギャラリー ⑤4

十三仏

東多久町高德寺



十三仏は冥界(冥途)の審理などに関わる仏で、十三回の供養(法事)を主宰するとされます。現在、小堂の側に十三仏が整然と安置されています。写真右から不動明王、釈迦如来、文殊菩薩、普賢菩薩、地藏菩薩、弥勒菩薩、薬師如来、観世音菩薩、勢至菩薩、阿彌陀如来、阿闍如来、大日如来、虚空蔵菩薩です。十三仏の台石には古賀区(六基)、杵島三坑(四基)、晴田村、砥川町、久保田村と刻まれ、炭鉱関係者もいたと推定されます。

小堂前の修行大師像を載せた石碑に「十三佛建立記念 十三佛建立發起人(十人の名前と町村名他) 昭和七年五月建立」と刻まれています。高德寺の十三仏は、この年に安置されたと考えられますが、当初の位置から移設された可能性もあります。

※写真の左端に、十三仏以外の二体が写っています

多久市郷土資料館長 藤井伸幸

市民文芸

母ゆずり「もったいない」が身について

チラシの裏にメモする短歌 梶原恵美子

残照の野に群なして飛び交うも

アカネの薄羽とくに光りて 川浪 信子

何ひとつ上手く行かないでもそれは

夢を信じる大きなチャンス 野崎 隆幸

ふるさとの荒れし畑に秋茜

遠いとおい日の花いちもんめ 浦野 嘉恵

十七匹の鯉絶えし池孫の手で

枯山水となりて物寂ぶ 尾形 節子

月光や刻の止まりし掛時計

富樫 明美

戸締りの夜風に秋の深まりぬ

武富 律子

棟上げの終はりて蜻蛉二三匹

おおやはな 本村 則子

秋風の誘ふ旅の平戸城

中嶋 清子

案山子にも旅する夢のありにけり

西山 残月

遊びから始めてプロの名選手

百までは腕はおちぬと茶葉をもむ 大谷 和

村祭り太鼓の音で散る紅葉

松下 修

夜の散歩徘徊してはおりません

田中 正春

譲れない論戦腕を組むばかり

高塚チカ子

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

俳句 《大石ひろ女選》

川柳 《多久川柳会 互選》